

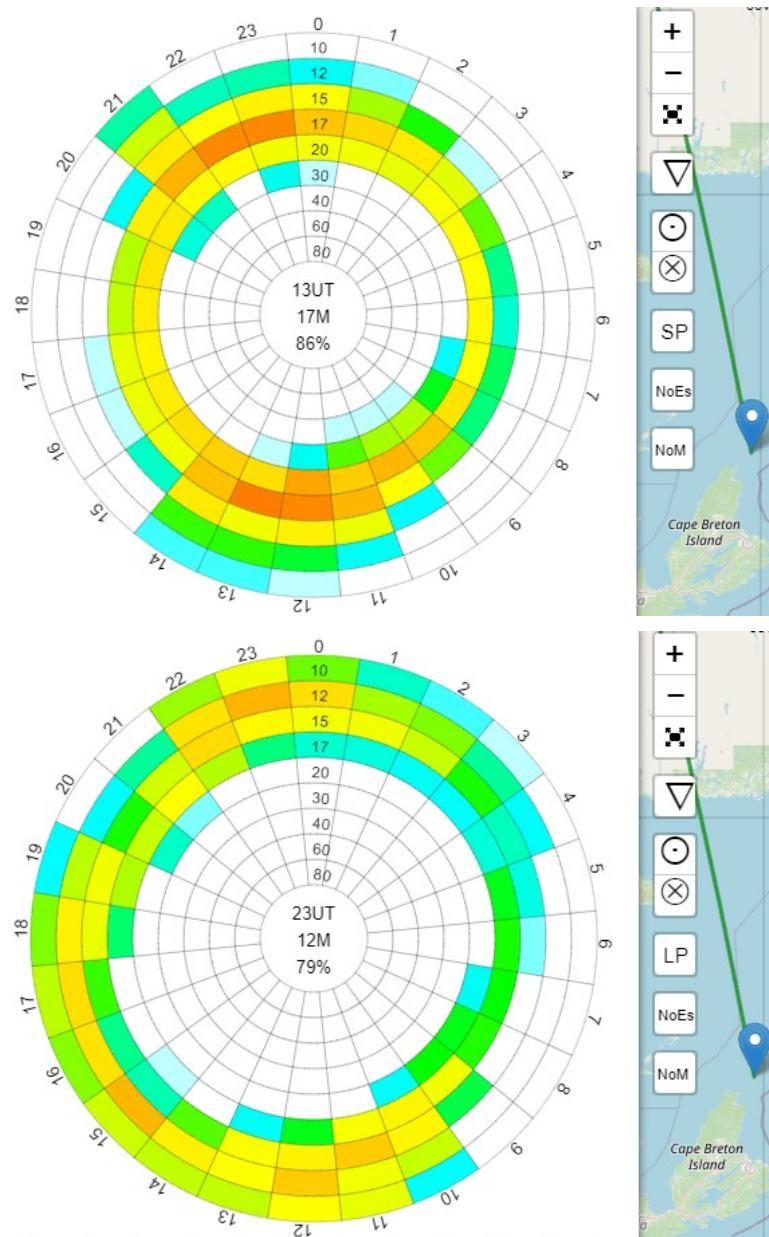
2024年9月 ブログ集

目次

9月 1日	CY9C SAINT PAUL Is.....	2
9月 2日	私設選果場の設営.....	3
9月 3日	明日からブドウの収穫作業.....	4
9月 4日	ブドウの収穫作業を開始.....	5
9月 5日	CY9C は QRT した模様.....	5
9月 6日	今年はシャインマスカットの登熟が早い.....	6
9月 7日	安芸クイーンは過去最高の出来.....	7
9月 8日	今年度の収穫作業に導入した OA ツール.....	8
9月 9日	三色ブドウ詰め合わせ (2kg 箱) の期間・数量限定販売のお知らせ.....	9
9月 10日	今日で収穫開始から 1 週間.....	9
9月 11日	田んぼでは稻刈りが真っ盛り.....	10
9月 12日	激しく 2kg 箱にブドウを詰める.....	10
9月 13日	シャインマスカットの房形を良くする方法.....	11
9月 14日	道の駅や青空市に出品したくない理由.....	12
9月 15日	ブドウの直販と収益について.....	13
9月 16日	メルカリでブドウの販売 やってみようかなあ.....	14
9月 17日	中秋の名月.....	14
9月 18日	受注のバックログがゼロに.....	14
9月 19日	食料品の消費税率を下げるのはやめてくれ！！.....	15
9月 20日	今日でブドウの発送は一段落.....	16
9月 21日	9J2AO Zambia, Worked on 12m FT8.....	16
9月 22日	安芸クイーンのジュース作り.....	17
9月 23日	続・安芸クイーンのジュース作り.....	18
9月 24日	DAIWA の鮎釣り用シーユーズの補修 (靴紐の交換)	19
9月 25日	礼肥を施用.....	21
9月 26日	ピオーネの収穫を完了.....	21
9月 27日	第 4 次九頭竜川キャンプ初日.....	22
9月 28日	第 4 次九頭竜川キャンプ 2 日目.....	23
9月 29日	第 4 次九頭竜川キャンプ 3 日目.....	23
9月 30日	第 4 次九頭竜川キャンプ 4 日目.....	24

9月1日 CY9C SAINT PAUL Is.

8月25日からCY9CのDXペディションチームがオンエア開始しているようです。私は、夏のバケーションを終えて、今日からDXハンティングに復帰しました。復帰後のターゲットはCY9Cです。このDXペディションは10人の米国人によるチームなので四六時中電波を出していると思うのですが、日本との電波伝播があまり良い地域ではありません。VOACAPで伝播予測をみました。



私は20mバンドでのみコンファームできているので、それ以外は全部バンドニューです。狙い目は17/15/24mです。ショートパスとロングパスの両方の可能性が朝も夜のありうるので、要注意です。

Clublog の Geopropagation を見ると、現時点までの QSO 実績は 17m バンドで 1184Qs となっていて、他のバンドの倍以上です。CY9C のホームページのニュースを見ると、SFH に代えて従来の FH で運用するそうです。それなら JTDX でワッチしていくても大丈夫そうです。

このブログを書きながら DXscape を見ていると 14094kHz に QRV しているというので、パイルアップに参加してコールしていたところ、暫くしてコールバックがありました。モードメニューをゲットできました。



9月2日 私設選果場の設営

今日はブドウの収穫に先立って準備作業をしました。毎年、ブドウの収穫時期には、車庫を使って臨時に私設選果場として使用しています。レイアウトは毎年のことなので固定っていますし、必要な消耗品も決まっているので、去年のことを思い出しながら設営作業を進めました。

農協の選果場では、ブドウの査定会が開かれているので、私もピオーネのサンプルを1房持って行きました。査定の結果は合格だったので、もう一つでも出荷できます。農協に行つたついでに、ホームセンターに立ち寄って消耗品を購入しました。

午後からは、9月になって到着した注文書のデータを入力したり、入力したデータのチェック作業をしました。



9月3日 明日からブドウの収穫作業



明日からブドウの収穫作業を予定しています。その準備として、ゆうパックの送り状をゆうプリRで作成しました。とりあえず400件分だけ印刷しました。

何を販売するにしても「集金」という行為は重要です。そのための「請求書」を書き始めました。一度に発送（納品）できる訳でもないので、徐々にボツボツと書けば良いので焦ってはいませんが、準備できていると安心です。

今朝、早朝に雨が降ったので、予定していた草刈りは午後から実施しました。F1MASAO を駆って、ブドウ棚の下を収穫作業に支障がない程度に草刈りしました。

9月4日 ブドウの収穫作業を開始

今日からブドウの収穫作業を開始しました。朝6時に起床して、ブドウ園に行って朝取りします。今朝はピオーネだけを250房収穫しました。毎日、このペースで収穫すると9月20日頃までに収穫が完了する予定ですが、段々と頭打ちしてきます。最初は、殆ど制約がないので取ったブドウの引き当てに困ることはありませんが、その内に配達日や品種（ラインナップ）などの制約があるため沢山取り過ぎると引き当てに困ることがあります。

今日収穫した内、房のサイズが大きすぎる（700g以上の）ものや小さすぎる（500g未満の）ものはJA経由で青果市場に出荷しました。2kg箱として予約注文していただいたお客様に発送した箱数が34箱でした。その他、ケーキ屋さんに発送した5kg箱が3箱で、JA選果場に持ち込んだ5kg箱が5箱、JA選果場に持ち込んだ400gパック8個入りが5箱でした。700箱を3週間で発送し終えるには1日あたり35箱なので、今日のペースを毎日維持して行かなければなりません。



9月5日 CY9CはQRTした模様

9月になって、漸くおっとり刀で参戦したCY9CのDXハンティングですが、予定通り現地時間の9月5日早朝にQRTした模様です。日本時間の18時頃（現地の夜明け前）には7056kHzでCQを出しているのを見つけてコールを開始しましたが、18時20分頃に

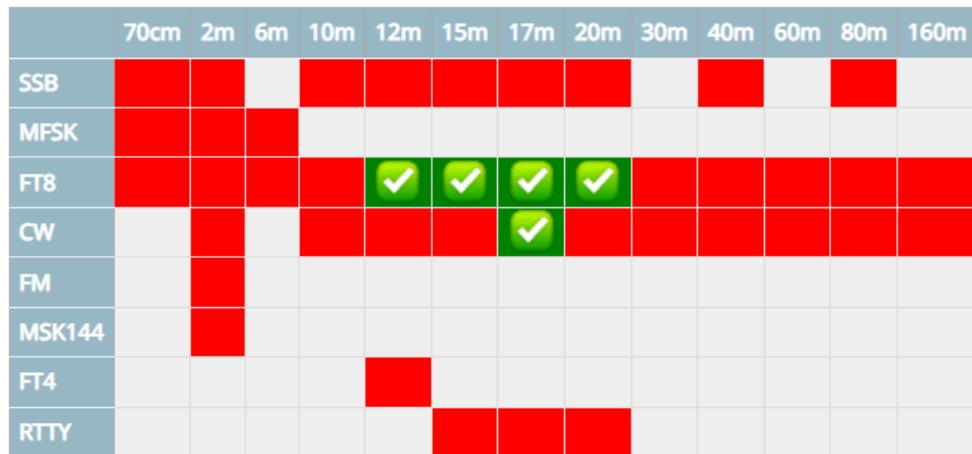
ぱったりとデコードできなくなりました。多分 QRT したのでしょう。ブログを書き始める前に PSK レポーターでチェックしてみましたが、どのバンドでもレポートが上がっていませんでした。

DXハンティングの成果は？というと、狙い目だと予めマークしていた 17m/15m/12m の各バンドでバンドニューをゲットできました。（20m はコンファーム済み）

JH4ADK has worked CY9C on 5 out of 42 band slots

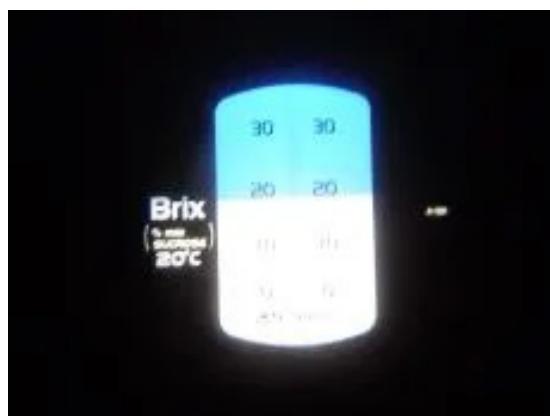
Propagation from JAPAN / ZONE: 25 / Geo Propagation Map

Leaderboard for zone 25 / JAPAN / AS or in Club: JARL - Japan Amateur Radio League



9月6日 今年はシャインマスカットの登熟が早い

今日からシャインマスカットの収穫を開始しました。今年の夏は天候が良く、日照時間が長かったためか、シャインマスカットの登熟が例年よりも早いようです。我が園の主力商品は、「ピオーネとシャインマスカットの詰合せ」なので、なるべく早くシャインマスカットを収穫したいと思っていたところであり、願ったり叶ったりです。糖度も 18 度を上回っています。



シャインマスカットを選果していくと、とても形の良いものがありました。ブドウの良い形というのは卵型で、「房締まりが良い」とか、「巻きが良い」と言われます。シャインマスカットの場合は中々そういう形になりません。（少なくとも我が家の中庭では・・・）記念に写真を撮りました。



9月7日 安芸クイーンは過去最高の出来

私が12年前にブドウ園を開園した時、「ピオーネ」と「シャインマスカット」の2品種のみを植えました。安芸クイーンを植えたのは、開園後5位後でしたので、収穫するには今年で6回目位です。安芸クイーンは、①色付きが悪い（中々鮮やかな紅色にならない）、②裂果しやすいなどの欠点があり、来年は伐ってしまおうかと真剣に思っていました。

ところが、収穫を開始してみると、安芸クイーンは、これまでの中で最高の出来です。粒張り（粒の大きさが大きいこと）が良く、裂果が少なく、色付きも上々です。

私は、ピオーネよりもシャインマスカットよりも安芸クイーンが好きです。好きだから栽培しています。黒ブドウ（ピオーネ）、青ブドウ（シャインマスカット）、赤ブドウ（安芸クイーン）の三色詰め合せセットとして販売しています。手間がかかる割には市場価格が安いので、JA経由で単品を青果市場に売る気がしません。安芸クイーンは、食味が良くて、ワインにするとフォクシー・フレイバーが効いた絶妙なテイストに仕上がります。個人的に密かに味わいたいと思います。

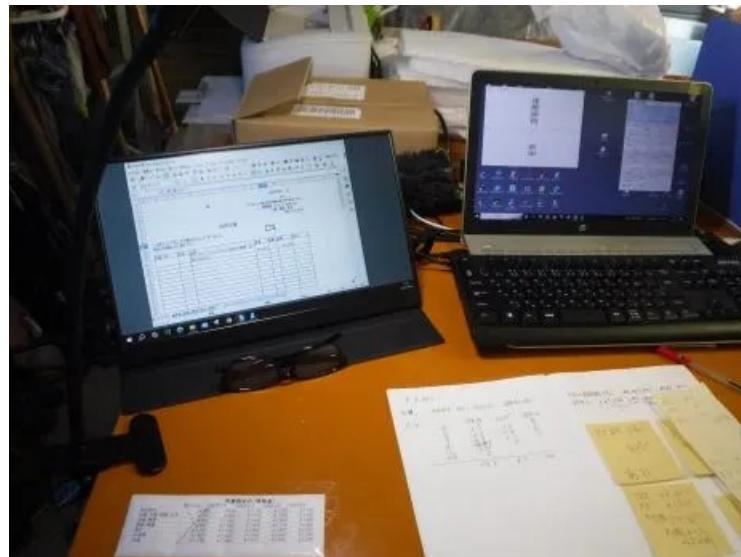


9月8日 今年度の収穫作業に導入したOAツール

収穫作業に OA ツールというのは変だと思われるかもしれないですが、補足説明します。私の言う収穫作業とは、ブドウを摘み取るだけではなく、選果して梱包し、お客様に発送するまでの一連の作業を言います。

ゆうパックの送り状を印刷したり、請求書を印刷したりするデスクワークには、パソコンを使っています。OpenOffice の表計算ソフト Calc を頻繁に利用していますが、一方のスプレッドシートで開いたデータを別のスプレッドシートにコピペする場合などには、画面が一つでは不便なので、「ポータブルモニター」を今年度から新兵器として投入しました。これが、中々便利に使って時短に役立っています。

最新型のパソコンでは USB ケーブル 1 本でポータブルディスプレーと接続できるらしいのですが、私が使っているパソコンは 10 年位前のモデルなので、USB ケーブル（電源用）と HDMI ケーブル（映像信号用）の 2 本のケーブルで接続しています。



9月9日 三色ブドウ詰め合わせ（2kg 箱）の期間・数量限定販売のお知らせ



2024年産ブドウの予約販売は終了しましたが、安芸クイーンとシャインマスカットが予想以上の出来だったので、赤ブドウの安芸クイーン・青ブドウのシャインマスカット・黒ブドウのピオーネの三色ブドウ詰め合わせ（2kg 箱入り：NET2kg 以上）を期間・数量限定で販売いたします。（写真は2箱分）期間は9月15日まで、数量は20箱で、期間中であっても予定数量に達した場合、販売終了とさせていただきます。お一人様3箱迄とさせていただきます。

注文方法は、電子メールまたはFAXでお願いします。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。メールアドレスは、[こちら](#)をご覧ください。FAX番号は、[こちら](#)をご覧ください。

また、安芸クイーン2kg 箱（NET2kg 以上）を20箱数量限定で、1箱あたり4600円（税込み・送料別）で販売いたします。こちらも、お一人様3箱までとし9月15日までの期間限定とさせていただきます。

宜しくお願ひます。

9月10日 今日で収穫開始から1週間

今年は、9月7日から収穫を開始したので、今日で1週間が経過しました。収穫した房数は1705で、全部の房数（見込み）に対する割合（収穫達成率）は37%です。収穫達成率が100%になれば、今年度の収穫は完了ということなので、あと2/3が残っています。これまでと同じベースで休み無しで収穫したとしても、あと2週間かかることになります。当初から、収穫作業は3週間位かかると見込んでいたので、予定通りです。

収穫したブドウは、お客様にゆうパックで配送していますが、受注した総数（箱数）に対する出荷済みの箱数の割合は、49%になりました。

これまでと同様に、この先も晴天が見込まれるので、ペースを維持して収穫・出荷作業をしていきたいと思います。

9月 11日 田んぼでは稲刈りが真っ盛り



我が家から見渡せる田んぼでは、彼方此方で稲刈りをしています。日頃は静かな山間の村ですが、今日は、5台のコンバインが稼働音を立てていてウルサイ位です。

昔私が若い頃（30才位の頃）には、殆どの農家が兼業農家だったので、稲刈りは土日に集中していましたが、今は皆、年老いていて、私を含め、殆どが専業農家なので田植えも稲刈りも土日に限らず平日でもやっています。私は66歳なので正真正銘の高齢者ですが、コンバインを使って稲刈りをしている方々は後期高齢者の方が殆どです。もう10年も経てば、この豊かな黄金色の田園風景がどうなるのだろうか？と思うとぞっとします。何パーセントの田んぼで稲作をしているでしょうか？

今年は令和の米騒動と言われており、新米の価格は昨年よりも5割位高くなりそうです。しかし、コメ農家の実態を考えると、まだ米価は安すぎると私は思うのです。生産者米価が1俵あたり4~5万円もすれば、直接支払交付金等の補助金がなくてもバランスするかもしれません、人手が高齢化し過ぎていて、かつ後継者不足であることを考えると、将来、日本の米はもっと高くなるかもしれません。そうなったら、中国米とかタイ米などを輸入するようになるんでしょうね～？！子供の頃から毎日欠かさず、此の地で採れたお米のご飯を食べて育った私にとって、そういうのを主食として毎日食べるなんて思うと、あまり長生きしたくないですね～・・・

9月 12日 激しく2kg箱にブドウを詰める

今日も6時に起床し、朝食後にブドウ園に行ってピオーネとシャインマスカットを探ってきました。昨日までに、ピオーネだけとか安芸クイーンがらみの注文を捌いていましたが、今日からはピオーネとシャインマスカットの2色詰合せに専念して箱詰することにしました。黙々と作業を続けて、午後2時半頃には箱詰と発送準備作業が完了しました。ゆ

うパックの集荷前に数を数えてみると、61 箱も作っていました。今シーズン最多です。ひょっとしたら、過去最高の数かもしれません。予約注文を下さっているお客様に少しでも早く届けたい一心です。



昨日に続き、今日も夕方 4 時頃から夕立がありました。昨日は少し外れたようで、それほどの降水量ではありませんでしたが、今日はドンピシャで、町に洪水警報が出る程しつかり降りました。

日照りが続いていたので、灌水をしようかと思っていましたが、1 週間位は大丈夫そうです。雨が降らなければ、集荷後に草刈りでもしようかと思っていましたが出来ませんでした。その代わり、請求書の作成作業などが扱りました。

9月 13 日 シャインマスカットの房形を良くする方法



写真の白い物体は、発泡スチロールのボール（玉）です。袋掛け直前に行う房直しの時に、ブドウの粒を少し持ち上げた方が房形が良くなる場合に限り、写真のように、発泡スチロールのボールを詰めてみました。この方法は、農業普及センターが栽培管理講習会の時に配布してくださった資料の中に記載されていました。管理講習会の後で、直ぐにネット通販を利用して発泡スチロールのボールを購入して、実験を兼ねてやってみました。

結果は、写真からわかるように、「良いんじゃない！」という感じです。勿論、このボールを外して袋詰めします。

9月14日 道の駅や青空市に出品したくない理由

ブドウの収穫が始まりましたが、今シーズンは道の駅や青空市（以降直売所と呼ぶ）に全く出品していません。その理由は、昨年10月から施行されたインボイス制度にあります。

インボイス制度とは、消費税にかかる制度です。私は、零細農家なので、逆立ちしても売り上げが1000万円を上回る可能性はゼロに近いため、税務署に登録番号を申請していません。こうすることで、消費税の納税義務を回避できる上、益税が得られるのです。

一方、道の駅や青空市は売上が1000万円以上あるので、インボイス制度が始まる以前から消費税の納税義務があり、当然インボイス番号を登録していてインボイス（適格請求書）を発行しています。道の駅などから詳しい説明を受けていないので、不詳な面がありますが、私の解釈では次のようにになります。

- 1)消費税率が8%の場合、直売所は販売額の7.4%を消費税として納税する必要がある。
- 2)インボイスがあれば、インボイスに記載された額を差し引いて納税できる。
- 3)インボイスには直売所が仕入れ時に支払った消費税額が記載されている。
- 4)よって、私のようなインボイスが発行できない者は、直売所に販売した時に消費税を請求すること自体がナンセンスである。（インボイス制度施行以前は、販売金額に消費税を上乗せすることは当然とされていた。）

ということは、直売所に販売した場合、従来、益税であった部分が無くなってしまい、私にとっては増税されたも同然です。税負担という観点で見れば当然ですが、直売所に販売せずにJAを通して青果市場で販売すれば、益税は依然として得られるようになります。青果市場での販売は、特例として非課税となっています。どっちが得かよ～く考えよう！ということになります。（現時点では、今年JA経由で青果市場に出荷した明細書を受け取っていないので、私が思った通りになっているかどうか不詳です。）

加えて、直売所で販売する場合、販売価格は自分で設定することになっているので、消費税と手数料を加味して価格設定する必要があり、それも面倒なのです。手間がかかって益がないのでは、益々出品する気がしないのです。

9月15日 ブドウの直販と収益について

私は、生産したブドウの約8割を予約注文により直接販売しています。こうにすることでいくつかのメリットがあります。

- 1) お客様の声を直接聞くことができて、やりがいや反省点を見つけ易い。
- 2) 販売顧客数が多い方が、JAだけに販売するよりもリスク分散ができる。
- 3) 価格を自分で決定できる。
- 4) JAや直売所に卸す場合に比べると、手数料が要らない。同じ価格で販売すれば、手数料分は自分の利益になる。
- 5) 消費税の益税が得られる。
- 6) 消費税を加算しないので、その分だけ販売価格を割引くことができる。

半面、次のようなデメリットがあります。

- 1) 自分で営業する必要があり、その分、経費と手間がかかる。
- 2) 注文を取り纏めたり、出荷・発送時にかなりの手間がかかる。
- 3) クレームが生じた場合には、自分で対処する必要がある。
- 4) Amazonとは違って、決して安くない送料がかかるため、お客様から見た購入金額が高くなってしまう。

年間に生産できるブドウの数は決まっているため、手間が掛かっても利益が多い方が良いと思っているので、直販することを選択しています。年老いて、「手間がかかるのは嫌だ」と思うようになれば、直販を止めるでしょう。

昨日のブログで、消費税の益税が得られると書きましたが、誤解のないように解説します。仮に、一箱4000円のブドウを販売した場合、送料が1000円前後かかります。送料は売上的一部分と見做されるので、約5000円の売り上げになります。送料には消費税（税率10%）が含まれるので、益税となるのは4000円の7.4%です。しかし、それが全部利益になるかというと違います。ブドウを作るには、肥料、農薬などの経費が色々かかります。経費を使う度に、10%の消費税を払っています。毎年、確定申告（青色）をしてので、昨年度の農業所得の損益計算書に見ると、販売金額に対する青色申告特別控除を差し引く前の収益額は、率にして約2割です。つまり、4000円のブドウに対して収益は約800円です。益税（4000円の7.4%＝296円）は、この中に含まれているので、益税まで納税してしまうと、収益は約500円になってしまうのです。5000円の売上に対する収益が500円ということは、利益率はたったの1割です。しかも、グロスの金額が知れているので、微々たる利益でしかなのです。

本気で農業に取り組んでいる若い人には悪いのですが、ブドウの販売金額だけで生活できる程、現実は甘くありません。私には、年金と言う強い味方があり、かつ、農業をやっているお陰で遊ぶ暇が減り、遊びに消費する額が少なくなるというオマケが付いているので、生活が成り立っているダケなのです。

9月 16日 メルカリでブドウの販売 やってみようかなあ

今日、近所で不幸があつてお葬式に参列しました。午前8時頃から午後4時頃まで掛かりました。なので、今日はブドウを収穫や発送は取りやめました。最近は近所の人ともあまり話をする機会がありませんが、今日は一日中一緒だったので、色々な話をすることができました。

その中で、野草をメルカリで販売しているという人が居ました。野草ということでもメルカリというのも意外でしたので、びっくりしました。メルカリというワードは知っていましたが、実際に何かを購入したことはありません。ヤフオクを以前は良く使って物品を購入していましたが、最近はあまり使っていません。ヤフオクで物品を販売したことは一度もありません。

自宅に帰つてからメルカリについて調べたところ、手数料や送料が安くて良さそうです。やってみようかなあ・・・と思って、早速メルカリShopの登録手続きをしました。

9月 17日 中秋の名月

今日は旧暦の8月15日で満月です。昼間は残暑というよりも猛暑と言いたい位の暑さが続いています。標高450mの我が家でも夜の最低気温が25°C前後で、熱帯夜が続いています。9月になってもこんなに暑い日が続くのは初めてです。7月中旬頃から3カ月程、ずっと熱帯夜が続いているように思います。

夜になっても暑いので、団扇を持って月を見に外に出てみました。月がとても大きくて、明るく輝いていました。スーパームーンかと思って調べてみると、来月17日の方がもっと地球に接近するようなので、今年一番明るい月ではなさそうです。しかし、今回の満月も地球との距離は35万8千kmと36万km以下なので、アメリカではスーパームーンと呼ぶそうです。スーパームーンって英語ですよね？！・・・だから、今夜の満月もスーパームーンなのだ！！

ブドウを栽培していると、中華圏の人々のお祭りである「中秋節」前に買い物が入るために市場価格が影響を受けるらしく、月を愛でるよりも、そちらの方が気になります。

9月 18日 受注のバックログがゼロに

今日の時点でブドウの収穫達成率は70%、残りの房数は約1200、受注残は59箱です。明日、明後日は、お彼岸中に配達を希望されているものが多数あるので、今日よりは忙しくなりそうです。23日頃からは相当暇になりそうで、何処かに遊びに行けそうな位です。

今日の発送は、ケーキ屋さん向けピオーネ5kg箱が2つと2kg箱が7つだけでした。発送準備は11時頃までに完了したので、久しぶりに裏庭で鉄板焼きをしてランチにしました。



9月19日 食料品の消費税率を下げるのはやめてくれ！！

立憲民主党の党首選挙に際して、食料品の税率を0%にするなどという大衆迎合的な政策を披露する御仁がいらっしゃるのですが、勘弁してほしいと思うのです。消費税は、軽減税率などという歪な制度はやめて、導入当初と同様に一律何パーセントとするべきだと私は思うのです。現在、主な軽減税率の対象品目は、食料品と新聞です。

新聞は、業界が率先して軽減税率を導入したように見受けられますが、直ぐに音を上げて、値上げてしまいました。何故でしょうか？理由は簡単です。新聞社が仕入れる材料などは10%の消費税がかかっているのに、新聞を売った時にかかる消費税は8%だからです。この差を埋めるために、（音と共に）値を上げてしまったのです。

では、食料品はどうでしょうか？食料品を販売しているのは、農業者と食品加工会社および物販業者です。一番、割りを喰っているのは、農業者だと思うのです。肥料や農薬、燃料、農業機械など農業者が支払う物品には10%の消費税がかかるのですが、農業者が販売したコメなどの食料品には8%の消費税しか支払われないのです。その差分を負担しているのは農業者なのです。

良いよなあ！新聞屋は・・・自分で価格を決められるんだから、割りに合わないと思ったら、直ぐに値上げして！

その点、農業者はどうでしょうか？自分で価格を決められるわけではなく、需要が減っているとして、諸材料が高騰しているのに、コメの市場価格は（今年は別として）低迷しているのです。

今や農業に従事する人の割合は、高齢化と共に減少していて、多分3%を割っていると思われます。典型的なマイノリティーなので、政治的にも無視されているのかもしれません。だからこそ、声を上げたいのです。食料品の消費税率だけを下げるのを止めてくれ！！軽減税率も止めてくれ！

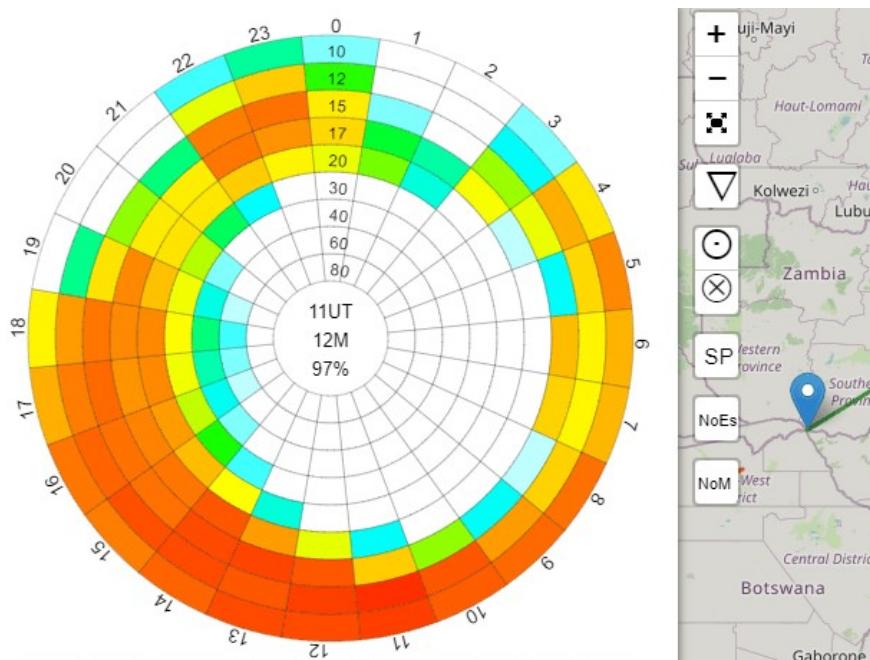
9月 20 日 今日でブドウの発送は一段落

お彼岸前に配達希望されていた予約注文品の発送が完了しました。次回のイベントは9月26日なので、それまではゆっくりできそうです。その間に草刈りをしたり、礼肥を施肥したり、やることは色々あります。

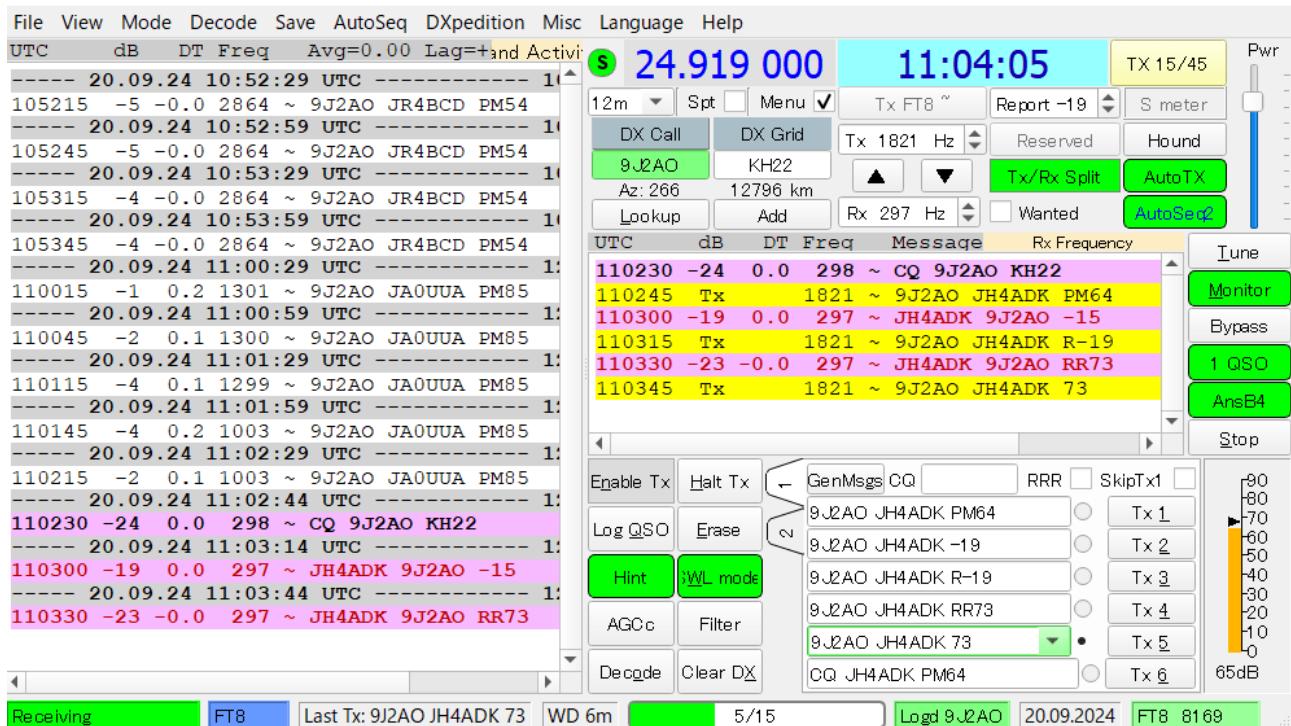
今年は天候に恵まれて、ブドウの出来は最高でした。腐れや割れ、病気、害虫による汚れや傷なども殆どなくて、手要らずでした。こんな年ばかりだと良いんですけどね～！

9月 21 日 9J2AO Zambia, Worked on 12m FT8

HA5AO は、アフリカ南部にあるジンバブエ、ザンビア、ボツワナの3か国を巡る DX ペディションを行っています。最初 Z22AO のコールサインでジンバブエから QRV していましたが、DXCC Challenge のマトリックスを見ると埋まっていたので、食指が伸びませんでした。最近は、9 J2AO のコールサインでザンビアから QRV しています。12m は バンドニューなので、気を付けて見守っていました。VOACAP で電波伝播を調べると、夜 19 時 JST 頃から真夜中にかけてパスがあるようなので、昨夜もネットサーフィンをしながら時折 pskreporter を見ていました。



19 時半頃から 10m に QRV していたので、ワッチを開始し、時折呼んでみましたが、QSO には至りませんでしたが、暫くすると 12m に QSY したようなので、バンドチェンジしてワッチを開始すると、CQ を出しているのが見えたので、コールすると即応答がありました。これで、CY9C 以来、久しぶりにバンドニューがゲットできました。



9月 22日 安芸クイーンのジュース作り

今日は安芸クイーンを全部収穫して、半分程をJA経由で青果市場に出荷しまし、残り半分はジュースにしました。

先月届いた搾汁機を使ってみました。この機械を使うのは初めてなので、ちゃんと使えるかどうか不安です。色々試してみることにしました。

まずは、もぎ取っただけのブドウの粒を袋にいれて、プレスしてみました。



結果は、期待に沿うものではなく、中々果汁で出てきませんでした。ブドウの粒が潰れにくいようです。仕方がないので、果物ナイフを使って粒を割ってみました。今度は、そこそこ果汁がでてきました。しかし、これでも投入したブドウの重さの 56% の果汁を搾るのがやっとでした。7 割か 8 割位の率になるかと思っていましたが、中国製の安価な素人的搾汁機では、そこまで効率良く搾汁するのは難しそうです。

搾汁率が 56% だとすると、1kg のブドウから採れるジュースは 560g です。ジュースがそのままワインになるとすると、720ml のワインを作るには、約 1.3kg のブドウが必要なので、高いワインになりそうです。

まだまだ気温の高い日が続いているので、果汁は冷蔵庫に入れて 10 月中旬位まで保管しようと思います。



9月 23 日 続・安芸クイーンのジュース作り

昨日から安芸クイーンのジュースを作っています。搾汁率を上げるための方法を色々考えました。綺麗に洗浄したトロ箱に入れて新品の長靴で踏み潰すのも有かと思いましたが、踏みとどまって、ミキサー（ジューサー）でドロドロにしてから搾汁機で圧力をかけて搾るという方法を試しました。

搾汁率が何パーセントなのか測定しませんでしたが、搾汁率を上げるには、最良の方法の一つだと思います。手間が掛かるという問題がありますが、一粒ずつ切り込みを入れることを思えば何のそのです。

ジュースを作るのも手間が掛かるということが発覚したので、どうせ一粒づつカットするのなら、干しブドウにもしました。電気乾燥庫で、50 度 36 時間くらいで乾燥すれば、適度な柔らかさになる筈です。電気乾燥庫には、トレーが 3 つ入るので、1 バッチ分ができる限りの分量のブドウ（安芸クイーン）を使いました。



9月 24 日 DAIWA の鮎釣り用シューズの補修（靴紐の交換）

8月下旬に九頭竜川に釣行している時、鮎釣り用シューズ(右足側) の紐が切れてしましました。よく見ると、紐は二重構造になっていて、左足用の靴紐も外側の編組が所々で切れていました。購入して 3 年目位になるので寿命かな~と思いました。

応急措置として、紐を途中で結んで急場を凌ぎましたがが、また途中で切れたりすると危険です。この時は、ドライタイツ用の一回り大きめのシューズを持っていたので、そちらを使用することにしました。

帰宅後、ネットで検索すると、在庫がありそうだったので注文しましたが、やはり在庫切れでした。鮎釣り用のシューズやタイツは冬から春先に注文しないと、希望する品物が手に入らないようです。

靴紐さえ交換できれば、まだまだ使用できそうだったので、補修を試みました。しかし、靴紐の予備があるわけではありません。いつものようにチャレンジ精神を発揮して、とりあえずやってみることにしました。材料は、アンテナのブームを吊るために購入した直徑2mmのダイニーマロープです。ダイニーマは釣りにも使われるようですが、ワインチのワイヤーワイヤロープとして鉄製のものに代えて使われているくらい引張力に強いのだそうです。強いことは良いことだ！！

ということで、これに交換してみました。元の靴紐よりも若干細いようですが、DAIWAの特徴的な締め付け機構もちゃんと機能しました。バッカリです。これで、来シーズンも使えそうです。



9月 25日 礼肥を施用

ブドウは未だ収穫中ですが、午後から礼肥を施用しました。礼肥として施用したのは、岡山ピオーネ専用 057 という肥料です。デジタル秤で計量して、残らないように、分配しました。肥料を施用する時は、撒く作業よりも計量する作業の方が手間がかかるように感じられます。今年も、遅伸びした樹への施肥量は少なめにしました。



9月 26日 ピオーネの収穫を完了

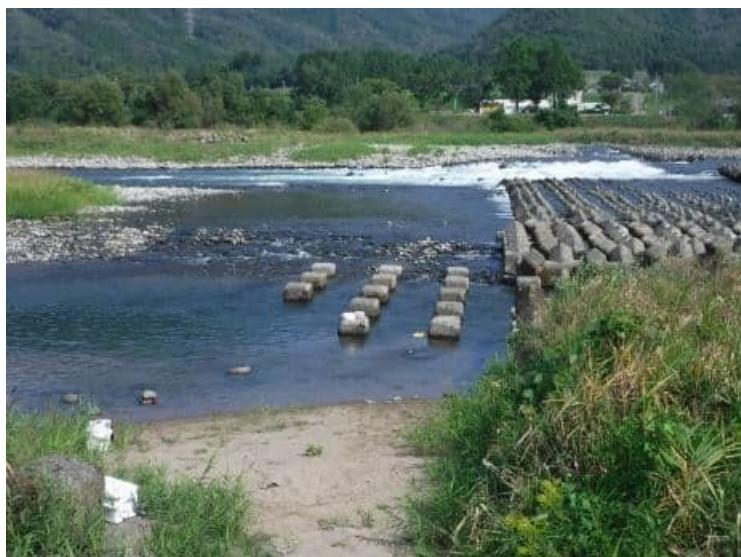


今日、ピオーネの収穫を完了しました。ブドウ棚に残っているのは、冷蔵保存用にキープしているシャインマスカットだけです。

思えば9月4日に収穫を開始してから約3週間。これで収穫はお仕舞かと思うと寂しいのが半分、やっと終わって安堵しているというのが半分です。9月最後の発送を終えて、残ったピオーネは余さずJA経由で青果市場に出荷しました。市場価格というのは、競り（せり）で決まるので毎日違うので何とも言えませんが、ピオーネは概ね昨年よりも少し高く、シャインマスカットは少し安いという印象です。

9月27日 第4次九頭竜川キャンプ初日

ブドウの収穫から解放されたので、九頭竜川に来てしまいました。九頭竜川の水位は8月末と同じ位で、濁りもなく、天気は快晴、暑い位の天気でした。昨夜の午後7時頃に出発して、途中で2回程仮眠をとて、永平寺町に到着したのは午前8時頃でした。GENKYというドラッグストアで買い物がしたかったので、開店時間である9時まで待つて、食料品などをの買い物をしました。その後、モリイシ釣り具でオトリを仕入れて、飯島にやってきました。



今日は9月末の平日だというのに、8月末の平日よりも多い釣り客で賑わっていました。何処に入ろうかと思案して、飯島の頭首工上のトロ場の一角で竿を出しました。ラッキーなことに程なく最初の1尾目がかかって、昼飯までに5尾位かかりました。午後からは浄法寺橋上のトロ場に行って、15尾位かかりました。1か月振りなのに、良い調子でかかりました。ドライタイツで入りましたが、おへそが浸かるぐらいの水位だと寒さを感じます。修理した鮎釣り用シューズはバッチリでした。

9月28日 第4次九頭竜川キャンプ2日目

天気くもり、水温 19°C（午前7時）、濁りなし、水位は昨日と同じ（平水よりも約30cm低）、土曜日だけど釣り人はポツポツでした。

1番瀬のプールで泳がせて7尾程かかりました。瀬では殆どかかりません。午後から浄法寺橋の上流に行きましたが、昨日とは違って、イマイチの釣果でした。3時頃になると曇りということもあって、寒くなったので早めに上がって、M氏と一緒に温泉に行きました。

9月29日 第4次九頭竜川キャンプ3日目

今日は一日中曇りで、ぱっとしない天気でした。9時頃川に入って釣りをしていると、知り合いのKさんが血相を変えて、川下から駆け上がってき、「頭首工の絞り込みに吸い込まれた人が居る」というのです。もしかしたら、一緒に釣りに来ているM氏かもしれないと心配になり、急いで川から上がりました。M氏は無事でしたが、流される現場を目撃した第一発見者でした。

暫くして救急車が到着し、警察のパトカーなどもやってきました。被害者も見つかったようで、救助のためにヘリコプターがやってきて吊り上げていきました。野次馬として、その一部始終を見物していました。警察の調査や新聞社・放送局の取材などがあり、落ち着かない一日でした。



9月30日 第4次九頭竜川キャンプ 4日目

今日の天気は、曇り時々晴れ。昨日よりも日照が良かつたので、鮎の活性も上がったようです。朝から飯島の右岸側に車で移動して入川しました。浅いところで釣れるかと思って試しましたが、イマイチだったので、結局、絞り込みの近くで竿を出すと、そこそこ釣れました。

流れのキツイところでは釣れないと思っていましたが、どうも、そうとばかりは言えないようです。相変わらずM氏は頭首工の専用ポイントで26cm位の大きな鮎を釣っています。